

# 進路通信



令和5年5月12日 第5号  
佐世保市立鹿町中学校

校訓： 磨きあえ心 学びあえ知 鍛えあえ体

## ★ まぶしい 5月 ★

新緑が美しい5月、さわやかな季節です。今月14日（日）に行われる体育祭が楽しみです。生徒は応援や学年種目、係活動から多くのことを学んでいます。そのことが行動や表情からわかります。大変なこともあるかと思いますが、毎日の学びが将来につながっていきます。明るく前向きな気持ちで、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。

今日は各高等学校から届いている学校だよりから、県立佐世保西高等学校「佐西学校だより」の記事を紹介します。

置かれた場所で咲きなさい

県立佐世保西高等学校長 濱野正義

「私の人生のモットーにしていることば」は「置かれた場所で咲きなさい」ということば。

これは、渡辺和子さん著書のタイトル、彼女は、幼い時父親を亡くし、苦勞して大学まで行きましたが、その後いろいろな思いから修道院に入りました。それから36歳という若さで岡山県のノートルダム清心女子大学の学長に就任したのです。見知らぬ土地、考えてもいなかった役職、経験のないことの連続で、追い詰められ、毎日の業務から逃げ出したいと思って過ごしていたそうです。そんな時、疲れ果てた渡辺さんを心配した神父が、渡辺さんに1行のことばを書いた紙を渡しました。そこに書かれていたのが「置かれた場所で咲きなさい」ということばでした。

その時から、渡辺さんは変わりました。与えられた役職や仕事に対し、いつも不平不満を持ち、他人の評価や言動に振り回され、環境の奴隷となっていたことに気づいたのです。渡辺さんは考え方を変えました。

今いる場所で、自分らしい花を咲かせようと。

生きている「今」はもう二度と戻ってこない。やるべきことを精一杯やり、笑顔で自己肯定をする。もちろん笑顔になれない日もあるでしょう。そんな時は無理をせず、根をしっかりと張ればいいのです。失敗することも、後に美しい花を咲かせるための準備だったと考えればよいと、渡辺さんは綴っています。

皆さん、どうですか？クラス、教科を担当する先生、部活動でのこと、与えられたことへの不満ばかりを言っていないですか？他人からの評価ばかりを気にしすぎていませんか？いつのまにか、実行する前から「やれません」「いやです」と言う人間になっていませんか？

「置かれた場所で咲きなさい」

置かれたところこそが、あなたの居場所なのです  
時間の使い方は そのまま いのちの使い方です  
自らが咲く努力を 忘れてはいけません  
雨の日 風の日 どうしても咲けないときは  
根を下へ下へと伸ばしましょう  
次に咲く花が より大きく 美しいものとなるように

